

専攻建築士審査・登録申請 誓約書 (様式1)

登録 \_\_\_\_\_

( 事務局使用欄 )

私は、専攻建築士制度の登録をしたいので、審査・登録の申請をします。  
 私は、この審査申請書に記入した事項および添付した書類の内容が真実で、かつ、正確であることを誓います  
 また、「専攻建築士制度規則」に基づき、建築資格者として常に研鑽を心がけ、自己の業務・行動について責任を負うことを同意します。  
 なお、この審査・登録申請書及び添付書類の内容が真実と相違がある場合には、登録を取消されても異存ありません。  
 また、専攻建築士として登録後、上記同意に反した事実が判明した場合には、登録を抹消されても異存ありません。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

社団法人 日本建築士会連合会 会長 殿  
 社団法人 滋賀県建築士会 会長 殿

申請者氏名(自署) \_\_\_\_\_ 印

専攻領域	限定表示	専門分野		
1. まちづくり専攻建築士	-			
2. 設計専攻建築士	-			
3. 構造専攻建築士	-	-	-	-
4. 環境設備専攻建築士				
5. 生産専攻建築士				
6. 棟梁専攻建築士	-			
7. 法令専攻建築士	-			
8. 教育研究専攻建築士	-			

写真欄

縦3.0cm×横2.4cm  
 無帽・無背景・正面上3分身を写した証明写真(裏面に名前を記入)

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 撮影  
 (最近3ヶ月以内のもの)

「生産」専攻において、「積算」の限定表示をする為の必須資格

建築積算資格者

「生産」専攻において、「診断・改修」の限定表示をする為の必須資格

特殊建築物調査資格者 建築士上げ診断技術者 建築・設備総合管理技術者

該当する専攻領域に 印を付けてください。  
 専攻領域は、3つまで申請できます。  
 専門分野表示は、各専攻領域毎に3つまで申請できます。

申請区分

会員 \_\_\_\_\_

該当する申請区分に 印を付け、( )内を記入してください。

1. 専攻実務( )年 + CPD( )単位	*確認	
2. 実務実績免除資格 APECアーキテクト APECエンジニア(構造) 建築構造士 JABMEEシニア 建築積算資格者 日本伝統技術保存会認定者 建築基準適合判定資格者		

専攻領域		専門分野		会員	
ふりがな 氏名		生年月日 昭和・平成 年 月 日 ( )歳 性別 男・女		本籍地 都・道 府・県	
写真欄 縦3.0cm×横2.4cm 無帽・無背景・正面 上3分身を写した 証明写真 (裏面に名前記入)	現住所				
	〒		TEL		FAX
	勤務先 <勤務先掲載 可・不可>				
	所属部署		役職		
	所在地				
	〒		TEL		FAX
平成__年__月撮影 (最近3ヶ月以内のもの)		E-mail			
建築士 資格登録	一級建築士登録番号		昭和・平成 年 月 日登録		
	二級(都道府県名 )		昭和・平成 年 月 日登録		
	木造(都道府県名 )		昭和・平成 年 月 日登録		
最終学歴	卒業年	昭和 年 月 学校名			
	学部学科名				
その他の学歴(大学院等の工学教育)	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
現在の業務内容  右の該当するもの各1つを選択してください	職域( )				
	1. 建築士事務所、2. 構造設計事務所、3. 設備設計事務所、4. 積算事務所、5. コンサルタント、 6. 建設業、7. プレハブ住宅業、8. 製造業、9. 金融/保険業、10. 商業、11. 不動産業 12. 官公庁、13. 公社・公団等、14. 学校、15. その他( )				
	職務( )				
	1. 構造設計、2. 設備設計、3. 積算見積、4. 調査・鑑定・企画、5. 建築設計一般、監理、 6. 工事監理、7. 都市計画、8. 技能労務(大工など)、9. 現場管理、10. 経営、 11. 営業・販売、12. 試験・研究、13. 維持管理、14. 建材製造・開発、 15. 代理業務(代願)、16. 行政、17. 教育、18. その他				
他の所属団体					
他建築関連資格(取得年)、受賞履歴・著者論文・社会活動等					
建築(業務)に関する考え方がけている事					

専攻建築士名簿は公表することが前提ですがホームページ等に勤務先の掲載を拒否する場合は不可を で囲んでください。

* 審査 使用欄			
-------------	--	--	--

# 建築士免許取得後の職務経歴

( 様式 3 )

氏名	
----	--

- 注意 1 . 建築士免許取得時から現在までの、勤務・職務経歴について記入願います。  
 2 . 施工管理技士等の建築士免許取得前の実務期間を必要とする場合は、その期間を含め記入して下さい。  
 3 . 業務内容欄には、業務の概要・役割がわかるように具体的な内容を記入願います。  
 4 . 1 枚に書ききれない場合は、コピーしてお使いください。

業務期間	年 月 ~ 年 月 ( 年 九月 )	専攻領域		内専攻領域別実務として申請する年数	年 ヶ月
勤務先・部署					
所在地	〒 -				
主な業務内容 ( 物件・件数等 )					
業務期間	年 月 ~ 年 月 ( 年 九月 )	専攻領域		内専攻領域別実務として申請する年数	年 ヶ月
勤務先・部署					
所在地	〒 -				
主な業務内容 ( 物件・件数等 )					
業務期間	年 月 ~ 年 月 ( 年 九月 )	専攻領域		内専攻領域別実務として申請する年数	年 ヶ月
勤務先・部署					
所在地	〒 -				
主な業務内容 ( 物件・件数等 )					
業務期間	年 月 ~ 年 月 ( 年 九月 )	専攻領域		内専攻領域別実務として申請する年数	年 ヶ月
勤務先・部署					
所在地	〒 -				
主な業務内容 ( 物件・件数等 )					

専攻領域別実務年数	領域 1		年 ヶ月	
	領域 2		年 ヶ月	
	領域 3		年 ヶ月	
			合計	年 ヶ月

* 審査使用欄			
---------	--	--	--

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-まち) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	_____
専攻領域	まちづくり
専門分野	_____

まちづくり	業務(プロジェクト)名:	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他( )
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月~ 年 月(ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
まちづくり	業務(プロジェクト)名:	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他( )
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月~ 年 月(ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
まちづくり	業務(プロジェクト)名:	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他( )
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月~ 年 月(ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
まちづくり	業務(プロジェクト)名:	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他( )
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月~ 年 月(ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
まちづくり	業務(プロジェクト)名:	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他( )
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月~ 年 月(ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
まちづくり	業務(プロジェクト)名:	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他( )
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月~ 年 月(ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

* 審査欄	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-設計) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	_____
専攻領域	_____
<b>設 計</b>	
専門分野	_____

<b>設 計</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計 基本設計 実施設計 工事監理 その他( )
	プロジェクト概要:	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	階数: 地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>設 計</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計 基本設計 実施設計 工事監理 その他( )
	プロジェクト概要:	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	階数: 地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>設 計</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計 基本設計 実施設計 工事監理 その他( )
	プロジェクト概要:	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	階数: 地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>設 計</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計 基本設計 実施設計 工事監理 その他( )
	プロジェクト概要:	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	階数: 地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>設 計</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計 基本設計 実施設計 工事監理 その他( )
	プロジェクト概要:	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	階数: 地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>設 計</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計 基本設計 実施設計 工事監理 その他( )
	プロジェクト概要:	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	階数: 地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

<b>* 審査欄</b>	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-構造) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	_____
専攻領域	_____
<b>構造</b>	

<b>構造</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計    基本設計    実施設計    工事監理 その他( ) 規模構造:    RC造、 S造、 SRC造、 木造 階 数 :地上 階、 地下 階、 延床面積    m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間:    年 月 ~ 年 月 ( 月)	
	役割:    責任ある立場    担当者	
<b>構造</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計    基本設計    実施設計    工事監理 その他( ) 規模構造:    RC造、 S造、 SRC造、 木造 階 数 :地上 階、 地下 階、 延床面積    m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間:    年 月 ~ 年 月 ( 月)	
	役割:    責任ある立場    担当者	
<b>構造</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計    基本設計    実施設計    工事監理 その他( ) 規模構造:    RC造、 S造、 SRC造、 木造 階 数 :地上 階、 地下 階、 延床面積    m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間:    年 月 ~ 年 月 ( 月)	
	役割:    責任ある立場    担当者	
<b>構造</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計    基本設計    実施設計    工事監理 その他( ) 規模構造:    RC造、 S造、 SRC造、 木造 階 数 :地上 階、 地下 階、 延床面積    m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間:    年 月 ~ 年 月 ( 月)	
	役割:    責任ある立場    担当者	
<b>構造</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計    基本設計    実施設計    工事監理 その他( ) 規模構造:    RC造、 S造、 SRC造、 木造 階 数 :地上 階、 地下 階、 延床面積    m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間:    年 月 ~ 年 月 ( 月)	
	役割:    責任ある立場    担当者	
<b>構造</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 企画設計    基本設計    実施設計    工事監理 その他( ) 規模構造:    RC造、 S造、 SRC造、 木造 階 数 :地上 階、 地下 階、 延床面積    m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間:    年 月 ~ 年 月 ( 月)	
	役割:    責任ある立場    担当者	

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

* 審査欄	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-環境) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	
専攻領域	<b>環境設備</b>
専門分野	

<b>環境設備</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 空調設備 給排水衛生設備 電気設備 基本設計 実施設計 工事監理 その他( ) 規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数:地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>環境設備</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 空調設備 給排水衛生設備 電気設備 基本設計 実施設計 工事監理 その他( ) 規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数:地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>環境設備</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 空調設備 給排水衛生設備 電気設備 基本設計 実施設計 工事監理 その他( ) 規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数:地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>環境設備</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 空調設備 給排水衛生設備 電気設備 基本設計 実施設計 工事監理 その他( ) 規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数:地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>環境設備</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 空調設備 給排水衛生設備 電気設備 基本設計 実施設計 工事監理 その他( ) 規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数:地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>環境設備</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 空調設備 給排水衛生設備 電気設備 基本設計 実施設計 工事監理 その他( ) 規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数:地上 階、地下 階、 延床面積 m <sup>2</sup>
	プロジェクト概要:	
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

<b>* 審査欄</b>	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-生産) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	_____
専攻領域	_____
<b>生産</b>	
専門分野	_____

<b>生産</b>	業務(プロジェクト)名:	業務内容:
	プロジェクト概要:	施工管理(品質・技術 工程 コスト 安全 その他[ ]) 積算 プロジェクト・マネジメント(PM) コンストラクション・マネジメント(CM) 維持管理業務 改修・リフォーム その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月( ヶ月)	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数: 地上 階、地下 階、延床面積 m <sup>2</sup>
役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:	
<b>生産</b>	業務(プロジェクト)名:	業務内容:
	プロジェクト概要:	施工管理(品質・技術 工程 コスト 安全 その他[ ]) 積算 プロジェクト・マネジメント(PM) コンストラクション・マネジメント(CM) 維持管理業務 改修・リフォーム その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月( ヶ月)	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数: 地上 階、地下 階、延床面積 m <sup>2</sup>
役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:	
<b>生産</b>	業務(プロジェクト)名:	業務内容:
	プロジェクト概要:	施工管理(品質・技術 工程 コスト 安全 その他[ ]) 積算 プロジェクト・マネジメント(PM) コンストラクション・マネジメント(CM) 維持管理業務 改修・リフォーム その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月( ヶ月)	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数: 地上 階、地下 階、延床面積 m <sup>2</sup>
役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:	
<b>生産</b>	業務(プロジェクト)名:	業務内容:
	プロジェクト概要:	施工管理(品質・技術 工程 コスト 安全 その他[ ]) 積算 プロジェクト・マネジメント(PM) コンストラクション・マネジメント(CM) 維持管理業務 改修・リフォーム その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月( ヶ月)	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数: 地上 階、地下 階、延床面積 m <sup>2</sup>
役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:	
<b>生産</b>	業務(プロジェクト)名:	業務内容:
	プロジェクト概要:	施工管理(品質・技術 工程 コスト 安全 その他[ ]) 積算 プロジェクト・マネジメント(PM) コンストラクション・マネジメント(CM) 維持管理業務 改修・リフォーム その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月( ヶ月)	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数: 地上 階、地下 階、延床面積 m <sup>2</sup>
役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:	
<b>生産</b>	業務(プロジェクト)名:	業務内容:
	プロジェクト概要:	施工管理(品質・技術 工程 コスト 安全 その他[ ]) 積算 プロジェクト・マネジメント(PM) コンストラクション・マネジメント(CM) 維持管理業務 改修・リフォーム その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月( ヶ月)	規模構造: RC造、S造、SRC造、木造 階数: 地上 階、地下 階、延床面積 m <sup>2</sup>
役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:	

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

* 審査欄	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-棟梁) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	_____
専攻領域	<b>棟 梁</b>
専門分野	_____

<b>棟 梁</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 設計 施工管理 修復工事 診断 その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	プロジェクト概要: 用途: 規模: 延床面積 m <sup>2</sup> その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>棟 梁</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 設計 施工管理 修復工事 診断 その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	プロジェクト概要: 用途: 規模: 延床面積 m <sup>2</sup> その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>棟 梁</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 設計 施工管理 修復工事 診断 その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	プロジェクト概要: 用途: 規模: 延床面積 m <sup>2</sup> その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>棟 梁</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 設計 施工管理 修復工事 診断 その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	プロジェクト概要: 用途: 規模: 延床面積 m <sup>2</sup> その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>棟 梁</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 設計 施工管理 修復工事 診断 その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	プロジェクト概要: 用途: 規模: 延床面積 m <sup>2</sup> その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>棟 梁</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容 設計 施工管理 修復工事 診断 その他( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	プロジェクト概要: 用途: 規模: 延床面積 m <sup>2</sup> その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

* 審査欄	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-法令) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	_____
専攻領域	_____
	<b>法令</b>
専門分野	_____

<b>法令</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	確認検査(100件/年) 性能評価等( 件) 裁判所支援業務( 調停 鑑定 ) 民事鑑定 行政支援業務等( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	建築相談( ) その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>法令</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	確認検査(100件/年) 性能評価等( 件) 裁判所支援業務( 調停 鑑定 ) 民事鑑定 行政支援業務等( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	建築相談( ) その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>法令</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	確認検査(100件/年) 性能評価等( 件) 裁判所支援業務( 調停 鑑定 ) 民事鑑定 行政支援業務等( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	建築相談( ) その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>法令</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	確認検査(100件/年) 性能評価等( 件) 裁判所支援業務( 調停 鑑定 ) 民事鑑定 行政支援業務等( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	建築相談( ) その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>法令</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	確認検査(100件/年) 性能評価等( 件) 裁判所支援業務( 調停 鑑定 ) 民事鑑定 行政支援業務等( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	建築相談( ) その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>法令</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	確認検査(100件/年) 性能評価等( 件) 裁判所支援業務( 調停 鑑定 ) 民事鑑定 行政支援業務等( )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	建築相談( ) その他( )
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

* 審査欄	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月

専攻領域別実務経歴 ( / ) (様式3-1-教研) <専攻領域別書式、1領域1枚作成>

- 注意 1. できるだけ最新の経歴をご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。  
 2. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いてご記入下さい。  
 3. 様式4の「責任ある立場での実務実績」(3件)はこの書類の中から選び、写真を添付して「様式4」にご記入して下さい。  
 4. 新規申請において、専攻領域の実務としての認定は20年前までとさせていただきます。

氏名	_____
専攻領域	<b>教育研究</b>
専門分野	_____

<b>教育研究</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 非常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 研究・調査・開発 ( ) プロジェクト概要 ( ) その他 ( 修士論文 )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>教育研究</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 非常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 研究・調査・開発 ( ) プロジェクト概要 ( ) その他 ( 修士論文 )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>教育研究</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 非常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 研究・調査・開発 ( ) プロジェクト概要 ( ) その他 ( 修士論文 )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>教育研究</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 非常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 研究・調査・開発 ( ) プロジェクト概要 ( ) その他 ( 修士論文 )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>教育研究</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 非常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 研究・調査・開発 ( ) プロジェクト概要 ( ) その他 ( 修士論文 )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:
<b>教育研究</b>	業務(プロジェクト)名:	実務内容
	プロジェクト概要:	常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 非常勤講座 (講座時間 分 回/ ) 研究・調査・開発 ( ) プロジェクト概要 ( ) その他 ( 修士論文 )
	担当期間: 年 月 ~ 年 月 ( ヶ月)	
	役割: 責任ある立場 担当者	専門分野名:

1枚に1専攻のみを記入してください。1枚に描ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。[業務の該当項目を 塗潰し]

* 審査欄	頁計 実務年数	(領域合計)
	年 月	年 月



設計専攻建築士申請用  
責任ある立場での実務実績（様式4 - 設計）  
（ ）

氏名	
専門分野	

注意1. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件以上ご記入ください。  
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件ご記入ください。  
 2. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入してください。

プロジェクト名称						
業務内容	企画設計	基本設計	実施設計	工事監理	その他	
担当期間	年 月 ~ 年 月				ヶ月	
担当業務の役割						
所在地						
建築主						
施工者名称						
施工者所在地						
敷地面積	m <sup>2</sup>					
延べ床面積	m <sup>2</sup>					
構造	R C 造	S 造	S R C 造	木造		
階数	地上 階 ・ 地下 階					
用途						
建築確認	年 月 日	号	建築主事			
検査済証	年 月 日	号	建築主事			
特徴						
写真等貼付欄（貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）						
審査				認定		

# 構造専攻建築士申請用

氏名	
----	--

## 責任ある立場での実務実績（様式4 - 構造）

（ ）

注意1. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件以上ご記入ください。

2. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入してください。

プロジェクト名称											
業務内容	構造設計	基本設計	実施設計	工事監理	その他						
担当期間	年 月 ~			年 月			ヶ月				
担当業務の役割											
所在地											
建築主											
発注者											
施工者名称											
構造	R C造	S造	S R C造	木造							
敷地面積	m <sup>2</sup>			延べ床面積				m <sup>2</sup>			
階数	地上 階			地下 階							
用途											
建築確認	年 月 日			号		建築主事					
検査済証	年 月 日			号		建築主事					
自身が担当した業務											
特徴											
写真等貼付欄	<p>（設計図書、骨組み写真を添付する事。貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）</p>										
審査						認定					

環境設備専攻建築士申請用  
責任ある立場での実務実績（様式4 - 設備）  
（ ）

氏名	
限定表示	
専門分野	

- 注意1. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件ご記入ください。  
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件ご記入ください。  
 2. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入してください。  
 3. 「主な業務種別」欄のすべてに該当する場合は、「限定表示」欄は空欄にしてください。

主な業務種別	空調設備	給排水衛生設備	電気設備
プロジェクト名称			
業務内容	基本設計	実施設計	工事監理 その他（ ）
担当期間	年 月 ~	年 月	ヶ月
担当業務の役割			
所在地			
建築主			
施工者名称			
施工者所在地			
構造	R C 造	S 造	S R C 造 木造
敷地面積	m <sup>2</sup>		延べ床面積 m <sup>2</sup>
階数	地上 階 ・ 地下 階		
用途			
竣工年月日	年 月 E		
専門分野を確認できる具体的 業務内容			
写真等貼付欄（貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）			
審査	認定		

生産専攻建築士申請用  
責任ある立場での実務実績（様式4 - 生産）  
（ ）

氏名	
限定表示	
専門分野	

注意1．責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件ご記入ください。

なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件ご記入ください。

2．この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入してください。

主な業務種別	<input type="checkbox"/>	建築施工管理	<input type="checkbox"/>	設備施工管理	<input type="checkbox"/>	積算	<input type="checkbox"/>	診断・改修	<input type="checkbox"/>	非限定		
プロジェクト名称												
業務内容												
担当期間			年	月	～	年	月				ヶ月	
担当業務の役割												
所在地												
建築主												
施工者名称												
施工者所在地												
構造	<input type="checkbox"/>	RC造	<input type="checkbox"/>	S造	<input type="checkbox"/>	SRC造	<input type="checkbox"/>	木造				
敷地面積						m <sup>2</sup>	延べ床面積					m <sup>2</sup>
階数			地上	階	・	地下	階	用途				
監理技術者名						許可番号						
専門分野を確認 できる具体的 業務内容												
写真等貼付欄（貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）												
審査						認定						

# 棟梁専攻建築士申請用

## 責任ある立場での実務実績（様式4 - 棟梁） （ ）

氏名	
専門分野	

注意1．責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件ご記入ください。

なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件ご記入ください。

2．この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入してください。

プロジェクト名称											
業務内容	木工技能	設計	施工監理	修復工事	診断						
担当期間	年 月 ~ 年 月				ヶ月						
担当業務の役割											
所在地											
建築主											
敷地面積	m <sup>2</sup>			延べ床面積	m <sup>2</sup>						
構造	木造	その他（ ）			階数	地上	階	地下	階		
用途											
竣工年月日	年 月 日										
専門分野を確認できる具体的業務内容											
写真等貼付欄											
（規矩術や木組みの分かる写真を添付する事。貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）											
技術習得機関名											
所在地											
審査					認定						

# 法令専攻建築士申請用 責任ある立場での実務実績（様式4 - 法令） （ ）

氏名	
専門分野	

- 注意1．責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件以上ご記入ください。  
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件ご記入ください。  
 2．この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入してください。  
 3．関連資格（建築基準適合判定資格者・検査員・評価員等）に関する証明は、別紙添付してください。

関連資格	建築主事	建築基準適合判定資格者	その他（ ）
専攻対象	行政機関の建築確認、法令の策定		民間確認検査機関、評価機関等の業務
主要な業務	行政業務	確認検査業務	建設関連法令に関する専門家 住宅性能評価業務
	裁判所（民事調停委員、民事鑑定委員、民事鑑定人）支援業務		
	行政（建築工事紛争委員会委員、建築士審査会、建築審査会）支援業務		
	建築士会の建物相談（法令に関する）等の実績	営繕部などでのプロジェクト等の発注業務	
担当期間	年 月 ~ 年 月		ヶ月
担当業務の役割			
実務経歴内容			
写真等貼付欄（貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）			
審査	認定		

教育研究専攻建築士申請用  
責任ある立場での実務実績（様式4 - 教研）  
（ ）

氏名	
専門分野	

- 注意1. この申請書は、記入前にコピーし、実務実績の項目、内容毎に別の申請用紙に をつけて下さい。  
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件以上記入して下さい。  
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上の実務実績項目と内容を記入して下さい。

実務内容	教育機関における教育・訓練等の業務	研究開発に係わる業務
実務経歴期間	年 月 ~	年 月 月
職 名		
実務実績の項目		
教育機関において講座を担当 建築学会及び関連機関での公表論文等 研究開発部門での調査・開発プロジェクトに従事 学位論文（ 1 . 修士 2 . 博士 ） その他		
実務実績の内容 （ 上記の実務実績の項目ごとに1枚記入して下さい ）		
審査	認定	

専攻建築士審査・登録申請書 (様式5)

氏名	
----	--

申請書類確認書

申請者 チェック欄	様式名	書類名・内容	備考	* 確認
	様式1	審査・登録申請書(誓約書)	顔写真1枚貼付	
	様式2	審査・登録申請書(一般事項)	顔写真1枚貼付	
	様式3	審査・登録申請書(建築士免許取得後の職務経歴)		
	様式4	審査・登録申請書(責任ある立場 3件以上)(領域別書式)	写真貼付	枚
	様式5	審査・登録申請書(書類確認書・払込貼付書)		
	添付資料1	専攻領域実務期間及専門分野表		枚
	添付書類	建築士免許証(写し)		
	添付書類	他資格者証の写し ( )	資格	枚
	添付書類	建築士会継続能力開発(CPD)実績証明書		

手数料払込内訳

該当する箇所に 印を付け、合計金額を記入してください。

1. 申請領域数	1 専攻領域申請 16,800円	内訳 専攻登録料 6300円 + 1 領域審査料10500円 (1 専攻領域追加毎に10,500円を加算して下さい。)
	2 専攻領域申請 27,300円	
	3 専攻領域申請 37,800円	
2. CPD手帳	a. 保有している(参加登録済) b. 保有していない 3,000円	保有していない方は、CPD参加登録が必要ですので、手帳代・年間管理費等の計3,000円を加算して下さい。
3. 合計金額		円

審査・登録手数料の払込証明書(写し)貼付欄

郵便払込請求書兼受領証の写しを貼付して下さい。  
(払込票は領収に替わるものですので、  
原本の貼付はご遠慮願います。)

